



# 姉妹都市パロアルト市 中学生交流記

今年の3月から6月にかけて、姉妹都市アメリカ・パロアルト市と市内の中学生がお互いの市を訪れて交流を深めました。今回は、参加した生徒の現地での活動や感想を紹介します。 園市民活動課 (☎内線2031)



## パロアルト市でのホームステイ 3月

Day 1 歓迎パーティー



ホストファミリーと初対面

Day 3～5 学校訪問



アメリカの学校生活を体験

Day 3～5 学校訪問



現地中学校の授業に参加

Day 5 近郊見学



Googleの本社を見学

Day 6～7 ヨセミテ見学



ヨセミテ国立公園で雄大な自然に感動！

Day 9 お別れ



日本での再会を約束！



## 土浦市でのホームステイ受け入れ 6月

Day 1 歓迎会



心待ちにしていた3か月ぶりの再会

Day 9 向上庵訪問



座禅体験を行い、日本文化に触れました

Day 3～4 学校訪問



日本の授業を体験

Day 9 答礼パーティー



パディに感謝を伝えました

Day 3～4 学校訪問



みんなとお揃いの制服で登校

Day 9 お別れ



また会える日までさようなら！

## 姉妹都市アメリカ・パロアルト市との交流



パロアルト市は、多くのIT企業が集まるシリコンバレーに位置しています。高い生活水準や治安の良さなどによって、アメリカ国内で住みたい街として人気です。旧新治村で平成5年度から始まった中学生の交流事業をきっかけに、平成21年度に姉妹都市締結をしました。

パロアルト市について  
詳しくはこちら▼



## ◆派遣生から パロアルトでのホームステイを終えて

### アメリカの大きさにびっくり!

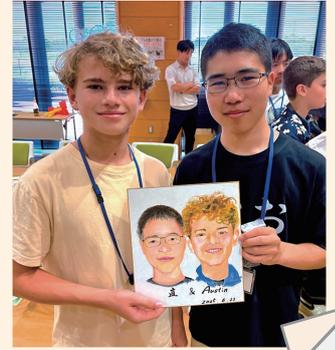
大関 直さん(土浦第一高等学校附属中学校)

アメリカでの生活は驚きの連続でした。自然はとても雄大で、ホストファミリーに連れて行ってもらった飲食店やスーパーでは、商品はどれも大きく、さすがアメリカと感じました。

ヨセミテ国立公園では、そのスケールの大きさにただただ圧倒されました。岩山は高層ビルをも超える高さで、そこから流れ落ちる滝は圧巻の一言。ほかに、80mもあるような木がそこかしこに立っている公園や、日本の大きさの2倍はあるようなアイスクリームなど、あげればきりがありません。

ホストファミリーは皆、僕に優しく接してくれ、毎日が新鮮な驚きと発見に満ちた、とても有意義な時間でした。

バディとは今もメールのやりとりなどを続けています。



### アメリカの日常生活をエンジョイ!

石川 幸典さん(常総学院中学校)

ホストファミリーとの英語での会話は、初めはとても緊張しました。思ったように英語が出てこず、何度ももどかしさを感じましたが、バディや家族がフレンドリーに話しかけてくれたおかげで、スムーズにコミュニケーションを取れるようになりました。

一番印象に残っていることは、学校訪問です。授業中にお菓子を食べても怒られないことにとっても驚きました。フレンドリーで自由な校風の中で、一緒にバドミントンをしたことが特に印象に残っています。放課後、バディやその友達と一緒にアイスを食べたことも楽しい思い出です。

毎日が新しい発見の10日間でした。本当に素晴らしい経験ができました。これらの貴重な経験をこれからの学校生活や勉強、そして将来に向かって、活かしていけるよう頑張りたいです。



## ◆保護者から ホームステイ受け入れの様子を紹介

### 日本の文化を満喫!

大関さんファミリー

息子のバディは日本が大好きで、滞在中は筑波山に行ったり、温泉に入ったり、漫画を読んだり、花火をしたり、日常生活を体験することを中心に計画しました。カレーライスやオムライス、たこ焼きにパンケーキと、一緒にたくさんの料理を作ったのが良い思い出です。

中学校訪問では、土浦の学校給食は美味しい!と感激していました。自宅周辺は特に何も無い田舎ですが、早朝の散歩で見かけた森の中の小さな神社や、水田の風景が印象に残ったようです。

毎日、何を食べたいか、どこへ行きたいかを皆で話し合い、子どもたちもそれぞれにバディとのコミュニケーションを楽しんでいました。家族にとってかけがえのない体験となりました。

### 息子とバディとは一生の友達!

石川さんファミリー

楽しみ半分、不安半分のホームステイ受け入れでしたが、初日に約3か月ぶりの再会を喜び合っている様子を見て、アメリカでとても良い関係を築けていたのがわかりました。

牛久大仏では、あまりの大きさに驚いて何枚も写真を撮り、日本の文房具にも興味津々で熱中していました。うどんやお寿司、ラーメンなどの日本食を堪能したり、夜は花火で遊んだり、日本のいろいろなものを楽しんでくれたと思います。

アメリカの学校では制服がないので、初めての制服を着て登校するのは良い体験だったようです。また、料理上手な彼が作ってくれたハンバーガーは、本格的でとても美味しかったです。

息子たちには海を越えてできた友人らと、これからも交流を続けてもらいたいと思います。